

**【事務事業調査】**

事務事業名	介護予防一般高齢者施策事業			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					005-030102-001-00-00-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当サブリーダー	社会福祉担当	事業の種類	既存事業
			吉葉 恵子		

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	65歳以上の高齢者を対象に、小学校区単位に町内6会場で各9回「運動機能向上」「口腔ケア」「栄養改善」等を中心とした介護予防事業を実施する。	活動的な状態にある高齢者の生活機能の維持、向上に向けた取り組みをすることで、介護が必要な状態に陥らないための一次予防の効果が期待できる。 また、事業への積極的な参加を促すことで、高齢者が健康で自立した生活をできるだけ長く続けられるよう、支援することができる。
実績	計画どおり、小学校結社ごとに町内6会場で介護予防教室を実施しました。実施回数は、参加者からの希望を受けて増やし各会場11回ずつの開催を予定していましたが、新型インフルエンザの流行を受けて、感染予防のための休講があったため、各9回ずつの開催になりました。	転倒予防や筋力低下を防ぐ運動をはじめ、食事の取り方や歯の手入れの方法など、身近な内容で実施しました。また、新たな取組として、認知症の講話も実施しました。事業終了後のアンケート調査からも、今後も継続して教室に参加したいという回答が多く寄せられ、継続した介護予防の意識が定着してきていることがうかがえます。 さらに、事業初回と最終日では、物事への前向きな気持ちに顕著な改善が見られ、閉じこもりや意欲低下の予防にも効果が出てきていると思われます。

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
介護予防教室のべ参加者数	918名	1,083名	計画よりも開催回数を増やして実施する予定でしたが、新型インフルエンザの流行時期を休講としたため、最終的に計画どおりの実施回数になりました。

**■事業費(計画)**

細 節	金 額
1 臨時的任用職員	178,250
2 報奨金	210,000
3 消耗品費	240,000
4	
5	
6	
7	
8	
	628,250

**■事業費(当初予算)**

細 節	金 額
1 臨時的任用職員	179,000
2 報奨金	210,000
3 消耗品費	109,000
4	
5	
6	
7	
8	
	498,000

**■事業費(実績)**

細 節	金 額	特記事項
1 臨時的任用職員	66,918	歯科衛生士@5,660×6日 栄養士@5,493×6日
2 報奨金	140,000	運動指導士@7000×20回
3 消耗品費	106,421	介護予防運動用品、栄養指導教材費 ほか
4		
5		
6		
7		
8		
	313,339	

**■事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		498,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		498,000	
決 算	決算額		313,339	
財 源	国庫支出金		78,335	補助対象経費の25.0%
	県支出金		39,167	補助対象経費の12.5%
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源		156,669	(支払基金交付金)対象経費の30.0%+(1号被保険者)対象経費の20.0%
	計	0	274,171	
	差引(一般財源)	628,250	39,168	